
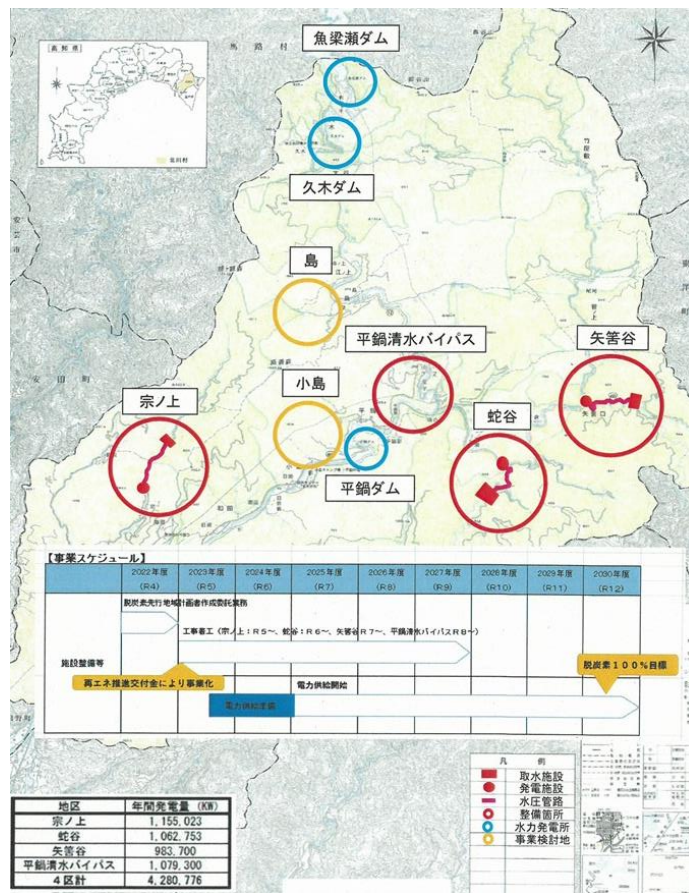


<p>地方公共団体名</p>	
<p>所属部局 担当者名</p>	<p>所属：総務課 担当：伊藤歩夢</p>
<p>地域の抱える 課題</p>	<p><b>【環境・脱炭素に関する課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 豊富な森林資源を活かしたまちづくり</li> <li>② 自然エネルギー供給源の確保</li> <li>③ 脱炭素ビジネスモデルの確立（一般社団法人北川村振興公社の活用）</li> </ul> <p><b>【同時解決したい地域の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 人口減少</li> <li>② ゆず等の地域産業の衰退</li> <li>③ 新規雇用（軽度障害者含む）対策</li> </ul>
<p>事業の目的</p>	<p>『再エネ 100%で自走するカーボンビレッジ』</p>
<p>事業の概要</p>	<p>北川村では、石油・石炭に頼らない自然由来の再生可能エネルギーを導入・普及することを目的に、小水力発電施設4基の整備を軸とした脱炭素化の取組を行います。一次産業における施設園芸等の非石炭化や公用車等の電気自動車への移行、小中学校等の太陽光発電施設の最大限の利用等再生可能エネルギーの活用の幅を広げていき、既存電力エネルギーのほとんどを再生可能エネルギーに置き換えることで自団体内の発電サイクルの中で発電・供給・消費のサイクルを自走化させていくことを目指します。2050年までの村内全域カーボンニュートラルの達成に向けて、四国電力や電源開発等の地域企業とタ</p>

ツグを組み、より実現可能性を高めていきます。



企業に求めたい  
内容

- ① 小水力発電事業等の再エネを活用したまちづくり事業のアイデア提案等事業協力
- ② 電気事業等のノウハウの技術的知見
- ③ ゆず等の一次産業への脱炭素モデルの構築可能性
- ④ 村内全域カーボンニュートラルの実現に向けた協力